

クリスマスコンサートにおける聖歌隊を指揮して

精神科副医長 上村 恵一

2016年12月20日、第8回市立札幌病院クリスマスコンサートを盛会に終えることができました。たくさんの方においで頂きまして感謝いたします。

市立札幌病院では、院内の入院患者さんと、通院患者さん、地域の皆さまを対象にクリスマスコンサートをこの時期に開催しています。今年は毎年お送りしている市立札幌病院聖歌隊の合唱に加えて、木管五重奏、弦楽四重奏、ピアノ独奏と幅広いプログラムで市立札幌病院職員の高い芸術力を披露する機会となりました。普段は地域医療への貢献のため邁進し診療、ケアを提供する医療者が、ここ数か月は診療後の時間に講堂に集い、弦楽を木管を合唱を練習して参りました。



聖歌隊は、平岸に精神科単科部門であった静療院があった時代に発足され精神科病棟統合により、聖歌隊も市立札幌病院に誕生しました。院内ほぼすべての部門（医局、看護部、医療品質総合管理部、薬剤部、放射線部、栄養科、検査部、地域連携センター、経営管理室）から招集され、さらには札幌市役所声友会合唱団の賛助出演により構成されています。

音楽は、最高の癒やしであるだけでなく、それ自身がケアであり、届ける側も、受け取る側も健康にしてくれる存在です。聖歌隊は決してプロのような歌声を届けることはできませんが、複数の声を合わせることで伝わる音の波は日々のつらさや、苦しさから一時でも解放してくれる最高の良薬であると思います。

今年おいでになれなかった方も、来年は是非とも市立札幌病院に最高の癒やし、ケアリングを受けにいらしてください。お待ちしております。

